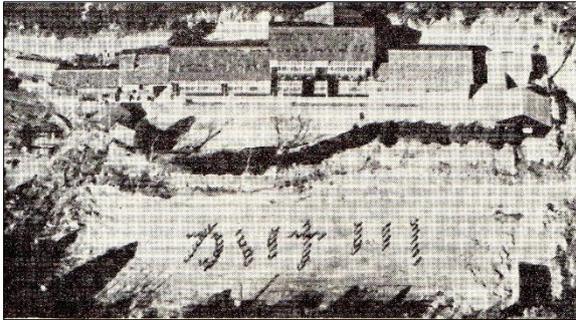




木造二階建て校舎から鉄筋校舎へ

昭和 44 年、校庭の下段にあった田んぼの整地を始め、念願の南運動場が完成しました。長年親しんできた“上の運動場”は使われることがなくなり、運動会を催すたびに運動器具・放送器具などを運び上げる苦勞から解放されました。



南運動場完成記念の人文字

南運動場があったところには現在、掛川公民館が建っています。

かねてから念願であった鉄筋コンクリート 3 階建ての校舎が下半田川町592-41に完成したのは昭和 58 年で、4 月から新校舎での授業がはじまりました。

それに先立って3月1日、木造校舎から鉄筋校舎移転記念の人文字が書かれました。(写真下)



移転記念 1983年3月1日 掛川小中校

木造校舎 さようなら 28 年間ありがとう

新築移転された鉄筋校舎は、3階の理科室や音楽室の前にテラスが設けられ、贅沢で斬新な造りになっています。

鉄筋校舎完成にあたって校舎の壁に最長 1.8m、厚さ 10cm の陶板製の大校章が取り付けられました。

制作は日展、朝日陶芸展などの審査員を務めた瀬戸市品野町出身の陶芸家加藤清之氏に依頼しました。費用は第 7 回卒業生（昭和 29 年 3 月卒業）が初老記念にと学校へ寄付したお金が充てられました。

加藤清之氏は従来の瀬戸焼の作品のほか、土の質感を前衛的な造形で表現したオブジェや陶板など多様な作品を作り続けている気鋭の作家で、愛知県陶磁資料館や愛知県勤労福祉会館をはじめ各地施設の陶壁も数多く手がけています。



現在の鉄筋校舎



陶板製の 大校章 最長 1.8m、厚さ 10cm